

化粧品メーカー伊勢半グループ創業200周年を記念した創業記念式典開催

従業員一丸となりギネス世界記録™に挑戦 「リレー形式で紅を筆でつけた最多人数」456名で記録達成！！

祖業である日本伝統の化粧品「紅」で、200年の歴史に記録を刻む

伊勢半グループ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:澤田晴子)は、このたび、7月4日に行われた「伊勢半グループ200周年 創業記念式典」にて、従業員をはじめとした出席者456名で、ギネス世界記録™「リレー形式で紅を筆でつけた最多人数」に挑戦。見事成功しギネス世界記録™に認定されました。

200周年の創業記念式典という特別な機会に、参加者一丸となって、特別な思い出を歴史に残したい、という想いで企画されたこの挑戦。伊勢半グループのルーツであり、矜持ともいえる「紅」を使った挑戦は、私たちの企業姿勢をまさに表す唯一無二のチャレンジとなりました。



ギネス世界記録™公式認定員・藤瀨文香氏(左) 伊勢半グループ代表取締役社長・澤田晴子(右)

■ギネス世界記録™認定内容

記録名 : リレー形式で紅を筆でつけた最多人数
(Longest relay of people applying rouge using a brush)

認定日 : 2025年7月4日(金)

認定場所 : 東京都千代田区

認定人数 : 456名

チャレンジ内容 : 伊勢半グループの祖業である紅(小町紅)を使い、①紅筆に水を含ませ、②手元の紅を筆で取り、③唇に点し、④次の人に紅の器を渡していくリレー形式で、最多人数の記録に挑戦。



小町紅



紅筆に水を含ませます。



玉虫色の紅を少量ずつ溶かすと、赤色に変わります。



紅を唇に点(さ)します。

■ ギネス世界記録™挑戦にかけた想い

今回の挑戦は、200周年の創業記念式典という特別な機会に、これまで伊勢半グループの歴史を紡いできたOBOGの皆さま、現在・未来の伊勢半グループを担う従業員が一丸となって、特別な思い出を200年の歴史に残したい、という想いで企画されました。

伊勢半グループのルーツであり、矜持ともいえる「紅」を使った、まだ誰もやっていないことへの挑戦は、私たちの企業姿勢をまさに表すものです。伝統を大切にしながらも、それに甘んじず常に革新と挑戦を続ける姿勢と、伊勢半グループらしさを表す「小粋な遊び心」を体現した、唯一無二のチャレンジとなりました。

■ チャレンジの様子

ギネス世界記録™への挑戦は、当日サプライズ発表されました。スタートすると、会場が思いをひとつに、紅のバトンをつないでいきました。最低認定人数の250人を超えても順調に伸びていく記録、ついにラスト456人目となる会長の澤田一郎へとつながり、無事参加者全員で紅のバトンがつながりました。



伊勢半グループでは、200周年のその先もメイクを楽しむ人々の気持ちに寄り添いながら、私たちが世に生み出す化粧品が世界中の人々を喜ばせ、驚かせ、輝かせることで、たくさんの美と幸せを紡いでいけるよう、進取の精神と果敢な行動力で、企業パーパスを体現するため、お客様の「いちばんほしいを、いちばんに」ご提供する存在として邁進して参ります。

The 1st Cosmetics. 伊勢半

いちばんほしいを、いちばんに

本件に関するお問い合わせ

伊勢半グループ広報担当

株式会社伊勢半 コミュニケーション本部 広報宣伝部 広報課（担当：日下部・野本）

電話：03-3262-3163 メール：pr-senden@isehan.co.jp

■伊勢半グループについて

江戸時代後期の1825年(文政8年)、日本橋・小舟町に日本伝統の化粧品「紅」を製造・販売する紅屋「伊勢屋半右衛門(通称:伊勢半)」として創業。以降、200年にわたり創業時から変わらぬ製法を守り、「最後の紅屋」として、現在に至るまで伝統的な紅づくりを続ける唯一の企業となっています。



「小町紅」

日本伝統の化粧品「紅(商品名:小町紅)」は、紅花の花びらに含まれるわずか1%の赤色色素を抽出して作られます。緑色の光沢を放つ玉虫色の紅は高品質の証とされ、その紅づくりの技術は門外不出の秘伝です。

伊勢半グループは現存する「最後の紅屋」として、現在も江戸時代から変わらぬ製法で紅づくりを守り継いでいます。

その一方、戦後に総合化粧品メーカーへと事業の舵を切り、現在はドラッグストア・バラエティストアなどで販売するセルフメイク化粧品を中心に、基幹会社の株式会社伊勢半ではコーポレートブランド「KISSME」を掲げ、主な商品ブランドとして「ヒロインメイク」「ヘビーローテーション」「キスミー フェルム」「キス」「マミー」など、多岐に展開しています。

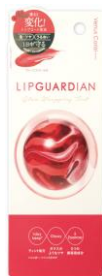
KISSME



このほか、独自性のあるコンセプトで多彩なコスメブランドを展開する「株式会社エリザベス」。あざ、白斑、傷跡など、肌色に深い悩みを持つ方にむけたカバーメイクアイテムを展開する「マーシュ・フィールド株式会社」など、国内5社、海外3社にて構成され、世界15の国・地域でも商品を展開しています。

ELIZABETH

MARSH FIELD



伊勢半グループの海外展開(2025年1月現在)

■伊勢半グループの歩み

1825年

初代・澤田半右衛門が日本橋・小舟町に紅屋「伊勢屋半右衛門(通称:伊勢半)」創業。

1945年

東京大空襲の焼け跡に残されたわずかな材料をもとに口紅づくりを再開。
紙包みのキャンディ型口紅を販売。

1946年

「キスミー特殊口紅」発売。“口唇に栄養を与える”のコピーで大ヒット。

1952年

業界初の新聞全面カラー広告を掲載。

1954年

株式会社エリザベス設立。2024年に創業70周年を迎えた。

1955年

「キスミースーパー口紅」発売。
“キスしても落ちない”のコピーは社会的なセンセーションを巻き起こした。

1966年

現在では主流の化粧品セルフ販売を可能にしたフック式陳列方式「PSP(パーフェクト・セルフパッケージ)システム」を業界初導入。

1970年

日本初のツヤ出し専用口紅「キスミーシャインリップ」発売。その後、1976年には年間1300万本超を売り上げた、コスメ史に名を残すギネス級のアイテム。

1975年

「キスミー薬用ハンドクリーム」発売。2025年に誕生50周年を迎える。

1987年

「キスミー フェルム」発売。時代に合わせて姿を変え、現在では年齢問わず愛されるブランドに進化。

エリザベスから目のイラストが印象的なアイメイクシリーズ「ビボ」発売。現在まで続くロングセラーブランド。

2001年

「キス」発売。2023年にリニューアルし、現在は“きょうの私を最高に好きになれる”ご自愛メイクブランドとして展開。

2004年

マーシュ・フィールド株式会社がカバーメイク事業を開始。

2005年

「ヒロインメイク」発売。イメージキャラクター、エリザベト・姫子の印象的なパッケージと、耐久力などの高い機能性で発売初年からベストコスメを獲得。

東京・南青山に常設の「紅ミュージアム」がオープン。



「キスミー特殊口紅」
業界初の全面カラー広告



「キスミースーパー口紅」広告



PSPシステム



「キスミーシャインリップ」



「キスミー薬用ハンドクリーム」



「ヒロインメイク」

NEWS RELEASE

2025年7月



2006年

エリザベスから毛穴ケア「ポアトル」発売。「ポアトル 角栓クリアジェル」はその後、2008年に口コミサイト殿堂入りを果たす。

2007年

中国に製造工場をもつ伊勢半(天津)化粧品有限公司設立。

2008年

「ヘビーローテーション」発売。眉マスカラにおけるパイオニア的存在の王道ブランド。2024年に主力商品「カラーリングアイブロウ」をフルリニューアル。

2011年

「マミー」発売。食品由来成分にこだわった親子で使えるスキンケアとして、UVケアを中心に支持を集める。

中国での販売を担う伊勢半(上海)化粧品商貿有限公司設立。

2018年

コーポレートブランドとして「KISSME」を制定。ブランドメッセージは「私らしさを、愛せるひとへ。」

ブランドメッセージを伝える取組みとしてKISSME PROJECTを実施。

2019年

タイでの販売を担うKISSME (THAILAND) CO.,Ltd.設立

KISSME PROJECT第2弾「顔採用、はじめます。」が注目を集める。

2025年

伊勢半グループ創業200周年

ヒロインメイク発売20周年

キスミー薬用ハンドクリーム発売50周年

紅ミュージアム開館20周年

創業記念式典でギネス世界記録™

「リレー形式で紅を筆でつけた最多人数456人」認定！



コーポレートブランド
「KISSME」



KISSME PROJECT
「顔採用、はじめます。」



ヒロインメイク20周年
記念特別ビジュアル